

観光立国の実現は地方から

観光立国への挑戦は飛躍期に

(3面から続く)



3千万人の実現に向けた課題は。間宮 常日頃、日本は観光資源大国でそれをよい商品にし、さらにはPRを十分にしないと観光客は来ないと言っている。プロモーションでは、もったいなく日本の魅力を伝えたい。隣国の韓国にすら十分伝わっていない。ましてや欧米となれば、極めて不十分だ。国の予算だけではなく、民間との共同事業も考えたいが、この不況でなかなか難しい。自社製品の宣伝など、民間の力が必要だ。観光が重要なという認識が高まっているにしても、実際がどうなっているかは行政、観光協会、事業者だけというのでは駄目だ。市民一人ひとりの意識が大切。外国人の受け入れ、減便、廃便、縮便(機材の小型化)が進行している。観光政策と航空政策は一体で進める必要がある。もう一つは受け入れ対策だ。JNTOが運営する観光案内所で外国人にアンケートをとると、外国語による案内板、道路標示、地図などの標識の不備が不満のトップだった。個人客にとって日本は必ずしも旅行しやすい環境にはない。地方との共通認識のもとで誰がいつまでに何をやるか、工程表を作って取り組むべきだ。

市民の力、観光振興に JNTOの強化必要

中村 問宮



中村 日本にとっての主要市場はアジアだ。やはりアジアの国々という関係を進めるのが大事ではないか。日中韓の観光大臣会合、日韓協力が担当している日韓観光サミットなどがそれぞれ重要な意味を持つ。民間の交流ももちろん大事だ。アジアがとも



東京・飯田橋のホテルメトロポリタンエンドモントで

観光立国が飛躍期に入っている中で、旅業の活性化には何かが必要か。まず外客の受け入れは、本保 観光庁では、訪日外国人3千万人を見据えて、「宿泊施設のあり方」に関する検討会を設置している。国際観光ホテル整備法の見直しなどを視野にいろいろな議論

中村 政府の観光立国推進本部のテーマは、休暇制度の問題に入っている。本保 休暇の取得、分散化については政府内でも関心が持たれており、緊急経済対策の柱の一つとして盛り込まれた。2010年度の観光予算算にも社会実験の事業費を要求している。具体的には、企業の有給休暇の連続取得を奨励する。学校の分散化を促進したいと考えている。連続休暇で秋の休業を欧州の国のように地域ごとに時期をずらすとか、これが実現すれば、旅行需要の平準化が進められる。2010年度に社会実験をやるというところで、全国20くらいの地域の知事や市長、くららの地域を支援する。方と話しをして、学校や教育委員会、企業などに協力をほたらきかけてもらうようお願いしている。キーワードは家族時間。休暇をとって観光に行くと、一言も言っていない。もちろん結果として観光につながることを期待しているが、親子がとも過ごす環境が増えれば、仕事に過剰な環境がなくなり、家庭環境がよくなり、仕事の休みも増えるという好循環をつくりませんかというお願いの仕方をしていく。中村 だが、休暇制度とい

中村 観光を成長分野とし、国を牽引する必要がある。これをいかに推進するかが課題だ。富裕層の高級旅館への関心は高いはず。市場の開拓に力を入れる必要がある。また、もう少し手軽に日本の生活を体験できるような旅館の存在が重要だ。バックパッカーなどさまざまな旅行者がいるのだから、ウエルカム・インに参加している宿泊施設なども念頭に置きたい。本保 「シシラン」などが話題となり、行政が主導するのが必ずしもいいとは思わないが、旅行者が分かりやすいサービスの提供という観点から旅館・ホテルの「格付け」が必要というところになれば、そこに踏み込んで議論すべき時期に来ていると思う。問宮 インバウンドの立場から日本旅館をみると、サービスの内容も重要だが、文化的伝達、異文化体験の提供という観点が欠かれない。日本旅館は日本文化の粋だ。日本の魅力の一つで、これをなくしてはいけない。日本旅館に外国人を呼び込むには、日本文化の粋という部分を変質させ

中村 観光を成長分野とし、国を牽引する必要がある。これをいかに推進するかが課題だ。富裕層の高級旅館への関心は高いはず。市場の開拓に力を入れる必要がある。また、もう少し手軽に日本の生活を体験できるような旅館の存在が重要だ。バックパッカーなどさまざまな旅行者がいるのだから、ウエルカム・インに参加している宿泊施設なども念頭に置きたい。本保 「シシラン」などが話題となり、行政が主導するのが必ずしもいいとは思わないが、旅行者が分かりやすいサービスの提供という観点から旅館・ホテルの「格付け」が必要というところになれば、そこに踏み込んで議論すべき時期に来ていると思う。問宮 インバウンドの立場から日本旅館をみると、サービスの内容も重要だが、文化的伝達、異文化体験の提供という観点が欠かれない。日本旅館は日本文化の粋だ。日本の魅力の一つで、これをなくしてはいけない。日本旅館に外国人を呼び込むには、日本文化の粋という部分を変質させ

旅館経営に「変革」を期待

本保

中村 観光を成長分野とし、国を牽引する必要がある。これをいかに推進するかが課題だ。富裕層の高級旅館への関心は高いはず。市場の開拓に力を入れる必要がある。また、もう少し手軽に日本の生活を体験できるような旅館の存在が重要だ。バックパッカーなどさまざまな旅行者がいるのだから、ウエルカム・インに参加している宿泊施設なども念頭に置きたい。本保 「シシラン」などが話題となり、行政が主導するのが必ずしもいいとは思わないが、旅行者が分かりやすいサービスの提供という観点から旅館・ホテルの「格付け」が必要というところになれば、そこに踏み込んで議論すべき時期に来ていると思う。問宮 インバウンドの立場から日本旅館をみると、サービスの内容も重要だが、文化的伝達、異文化体験の提供という観点が欠かれない。日本旅館は日本文化の粋だ。日本の魅力の一つで、これをなくしてはいけない。日本旅館に外国人を呼び込むには、日本文化の粋という部分を変質させ

中村 観光を成長分野とし、国を牽引する必要がある。これをいかに推進するかが課題だ。富裕層の高級旅館への関心は高いはず。市場の開拓に力を入れる必要がある。また、もう少し手軽に日本の生活を体験できるような旅館の存在が重要だ。バックパッカーなどさまざまな旅行者がいるのだから、ウエルカム・インに参加している宿泊施設なども念頭に置きたい。本保 「シシラン」などが話題となり、行政が主導するのが必ずしもいいとは思わないが、旅行者が分かりやすいサービスの提供という観点から旅館・ホテルの「格付け」が必要というところになれば、そこに踏み込んで議論すべき時期に来ていると思う。問宮 インバウンドの立場から日本旅館をみると、サービスの内容も重要だが、文化的伝達、異文化体験の提供という観点が欠かれない。日本旅館は日本文化の粋だ。日本の魅力の一つで、これをなくしてはいけない。日本旅館に外国人を呼び込むには、日本文化の粋という部分を変質させ

Advertisement for Nippon Travel Agency featuring the slogan 'Beautiful Country, New Journey' and logos for MACH, Bex, and Best.

